

中丹西

オレンジロードつなげ隊だより

【事務局】 京都府中丹西保健所 保健課 地域包括支援係
〒620-0055 福知山市篠尾新町1丁目91番地 TEL.0773-22-6381

認知症～ひとりで悩んでいませんか？



このシンボルマークには、優しい眼差しで、広く長く見守るという思いが込められています。

中丹西オレンジロードつなげ隊 **検索**

詳しくは
HPを検索

オレンジロードつなげ隊は、認知症を正しく理解してもらうための普及啓発を「地域と連携した普及啓発班」「学校と連携した普及啓発班」「アルツハイマー月間班」「つなげ隊だより編集委員」の4班に分かれて、活動しています。

京都高齢者あんしんサポート企業である「京都北都信用金庫福知山中央支店」で毎月掲示をしています。



世界アルツハイマー月間

9月1日～30日



高齢者複合福祉施設「えるむ」にて

9月は世界アルツハイマー月間として、アルツハイマー病について認識を深め、患者とその家族に援助と希望をもたらすことを目的に、世界各地で啓発活動が実施されます。中丹西管内でもオレンジロードつなげ隊員所属の介護福祉施設や市内9か所の地域包括支援センター、中丹西保健所において、のぼり旗を立てて啓発しました。

福知山公立大学福桔祭

10月29日(土)

啓発ブースに認知症の情報パネルを展示し、認知症のことを説明したパンフレットやチェックシートを配布しました。受け取られた方からは「そろそろ気になる年代になってきた。今後も気を配っていきたい。」等のお声もありました。個別に相談をされる方も数名ありました。



ロバ隊長も一緒にPR!

合計400名にお受け取りいただきました♪



問題
Question

平成17年度から令和4年9月末までの累計で認知症サポーターは何人でしょうか？

- ①約1,400万人 ②約1,800万人 ③約2,200万人

(答えは裏面)

新入隊員の紹介

厚ニコニコハウス ケアハウス 吉田味果隊員

認知症についての理解を深め、多くの方に認知症について知っていただけるよう、少しでもお役に立てればと思っています。

駅南ニコニコハウス 小室茂隊員

様々な取組を通じて、認知症を含む色々な人が、いつまでも住み慣れた地域で、安心して生活ができるようなまちづくりの一端を担えればと思っています。

駅南ニコニコハウス 千馬美穂隊員

オレンジロードつなげ隊のメンバーとして、地域の方々に認知症について知っていただき、安心して暮らしていただけるよう、お役に立てるよう頑張ります。

福知山市社会福祉協議会 桐村風香隊員

誰もが安心して地域で暮らせることを目指し、認知症についての理解を広めていけたらと思います。よろしくお願いいたします。

認知症カフェの紹介

認知症の方や介護されている方の癒やしの場、相談ができる交流の場です

ひだまり カフェ

ひだまりカフェは、京都府作業療法士会から支援をいただきながら、地域の方が情報交換や、相談、日頃の疲れを癒していただけるような居場所作りを行っています。

- 8月：盆踊り・ほうじ茶ラテ作り
- 9月：秋の唱歌演奏(楽器演奏)
- 10月：祭りの動画鑑賞・ゲーム



私たちは普段はひだまりデイサービスで仕事をしています。カフェの日は、地域の方々と話をしながら楽しい時間を過ごさせていただいています。ご利用の方が「月に一度ここに来るのが楽しみや」と言っていただき嬉しく思っています。皆さんがホッとできて、また来たいと思っていただけるような居場所作りを目指します。

☆開催日：毎月第2水曜日
 ☆開催時間：13：30～15：30
 ☆開催場所：グリーンピア夜久野
 福祉センター和室

出張型ひだまりカフェを行っています。希望される地域へ向かい、介護保険とは？施設はどんなところ？等の話や、体操・ゲームを行い、楽しい時間を一緒に過ごしています。



問合せ先

ひだまりデイサービスセンター 森下・衣川
福知山市夜久野町平野 834 番地 ☎0773-38-1125



認知症の基礎知識

Q アルツハイマー型認知症の症状はどのように変わっていきますか？



A

最初うつ病や軽い物忘れで始まり、進行は年単位でゆっくりとしています。



アルツハイマー型認知症の症状と経過

発症前期

- ・うつ
- ・軽いもの忘れ

軽度

- ・もの忘れ(日付など)
- ・同じことを話す

中等度

- ・お風呂に入りにくい
- ・トイレを使いにくい
- ・服の着替えが難しい
- ・歩行が困難

重度

- ・言葉の数が少ない
- ・立ち上がりにくい

参考文献「認知症本人家族教室テキスト」京都地域包括ケア推進機構編集

答え Answer

①約 1,400 万人です。新型コロナウイルスの流行により、認知症サポーター養成講座の開催は近年は少なくなってきましたが、日本全国で平成 17 年から令和 4 年 9 月末で講座は 43.2 万回も開催され、多くの認知症サポーターが誕生しています。

参考資料：認知症サポーターキャラバン